

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	法学研究科
大項目	4 教育研究組織 (研究科)
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 前期課程エキスパートコースの4つのプログラム(法律実務・公共政策・国際関係・自由研究)および2010年度より導入するビジネス法務の教育体制を点検・充実する。	→「各プログラム開講科目に関するアンケート調査の実施(教員・学生対象)」「学生の履修状況(他研究科・他大学履修を含む)と新規開講必要科目についての拡大大学院問題検討委員会における定期的検討」「複数プログラム共通科目導入の是非についての検討(2010年度)」「各年度における検討の進捗状況についての研究会委員長への報告」	B	B	B	B	
2. 前期課程の教育目標と教育研究組織との適合性を年度ごとに検証する。	→「前期課程の教育目標と5プログラム制との適合性を検証するための拡大大学院問題検討委員会の定期的開催」「プログラム間の教育実施体制を調整するためのプログラム調整委員会設置の是非についての検討(2010年度)」「各年度における検討状況と改善結果についての研究科委員会への報告」	B	B	B	B	
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」					
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	履修心得で5つのプログラム別に履修モデルを示すと共に、院生アンケートをプログラム別に、プログラム選択理由を含めて実施、アンケートに基づいて大学院FD協議会で院生とも意見交換し、大学院運営委員会において点検して、充実のための検討を行った。複数プログラム共通科目導入の是非については検討中である。進捗状況は研究科委員会に報告している。
目標2	上記アンケートを基礎に、大学院FD協議会を開催、大学院運営委員会も前期は定期的に開催したが、日常的大学院運営と長期的課題の検討とは分けて検討すべきであった。拡大大学院問題委員会は開催されなかったが、会議体を多くすることが却って非効率となることもあり、会議体の構成等の工夫が必要であろう。検討内容及び改善結果については逐次研究委員会に報告した。
備考	